

第三〇八回俳都松山俳句ポスト

第三〇八回開函

「渋柿」松山渋柿会長 戒能 多喜 選

特選三句

瀬戸内の光を集め蜜柑山

愛媛県松山市 林一孝

分湯場の手湯のほつこり冬の雲

埼玉県春日部市 西智恵子

虫の声鳥の声降る湯釜かな

兵庫県三田市 亀田浩世

入選二十句

(市外)

失敗も生きる糧なり老の秋

兵庫県宝塚市 芳野 正樹

秋を詠む句材の尽きぬ伊予の旅

埼玉県比企郡小川町 藤間 友二

懐しき蚊帳で一夜の民家宿

山口県宇部市 手島 隆

一年の終りに妻の背を流す

広島県広島市 塚 永行

濃縮還元みかんジュースも想ひ出も

島根県益田市 高橋 杏実

犬のおまわりさん唄つて帰る夜市かな

神奈川県横浜市 久保 省二

挑むべく冬のしまなみペダル漕ぐ

栃木県宇都宮市 河原 敦子

自販機のみきやんの歌う良夜かな

愛媛県今治市 馬越 貴英

立冬やふうと息吐く露天の湯

兵庫県明石市 小田 慶喜

色変へぬ松や子規の句句碑あまた

埼玉県深谷市 大橋 松枝

マドンナてふ蜜柑色づく佐田岬

兵庫県姫路市 浅野 哲正

木の葉散る君の撞く鐘よく響く

千葉県流山市 朝川 由美子

秋の陽の恵みに弾む夫婦旅

大阪府枚方市 松本 玲子

(市内)

冬紅葉天守をのせてをりにけり

愛媛県松山市 篠原 みどり

参道に異国の言葉冬うらら

愛媛県松山市 久米 康生

行く秋や歌懐しき深夜便

愛媛県松山市 門屋定

城頭へ間道のあり笹子鳴く

愛媛県松山市 門田 智子

母の手を引いて金木犀の中

愛媛県松山市 岩崎 久美

(十五歳以下)

きもちいいな松山じょうの秋の風

愛媛県松山市 田中海

あきばれのビルのむこうにかんらんしや

愛媛県松山市 杉崎 深織

伊予灘ものがたり賞

伊予灘は暮れ星型に剥く蜜柑

高知県須崎市 浜田 睦雄

投句総数	一、八一六句
市外	一、三五八句
市内	四五八句
投句者総数	一、一二〇人
市外	八九〇人
市内	二三〇人

開函日

令和四年十一月三十日